卓球 Table Tennis

林田実久（はやしだみく）さん（津波見小学校2年）は、すでに行われた全国卓球選手権大会に出場。

チームメイト7人とともに、8月30日㈯から大分県で開催される第13回全九州卓球選手権大会にバンビの部（小学2年生以下）で出場します。

実久（みく）さんは、右利きのシェイクハンド。「ラリーの練習が好き。得意なスマッシュで、優勝を狙いたいです」と意欲を見せていました。

九州大会に出場する津波見小学校の選手たち

鮮やかに煌（きら）めいて

若人へのエール 夢（ゆめ）に向かって

左から村里さん、松尾さん、平さん

陸上競技 Track And Field

投

口加高校陸上部の村里紘香（むらさとひろか）さん（2年、やり投げ）平真帆（たいらまほ）さん（1年、円盤投げ）、松尾美幸（まつおみゆき）さん（1年、砲丸投げ）の3人は、7月29日㈫から、埼玉県で行われる平成20年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会にそれぞれの競技で出場します。

村里さんは「気持ち」、平さんは「根性」、松尾さんは「バネ」が持ち味。「一投目から記録を狙います」と話す村里さんは、「上位入賞を狙いたい」と意気込んでいました。

県大会を突破し、9月19日㈮～23日㈫に高知県で開催されるマスターズ大会に県代表として出場する南島原クラブ。チームメイトからの評価が「人一倍努力家で強気」の伊藤勤（つとむ）さん（投手）の得意なボールは、速球からインローに鋭く落ちるドロップ。「マスターズでは、今までの最高が3位でしたから優勝か準優勝ですね。若い人たちのお手本ではなくて、ライバルと思ってもらえるよう、がんばっています。若い人たちもけがに気をつけて頑張ってください」

ソフトボール Softball

火を消すことに燃えています

加津佐地区消防団

第29回長崎県消防ポンプ操法大会が8月3日㈰に大村市の消防学校で開催されます。

「小型ポンプを素早く正確に扱うか」を競うこの大会は2年に1度行われ、本年度は加津佐地区消防団が市の代表として出場。

現在大会に向け、毎日練習を続けています。

指揮者の濱龍一郎（はまりゅういちろう）さんは、「最初のライバルは自分たち。毎日手伝っていただいた分署や地区団のためにも、自分たちが納得のできる、最高の演技をしたいですね」と意気込んでいました。

鮮やかに煌（きら）めいて

若人へのエール 夢（ゆめ）に向かって

九州大会、全国大会に出場する4つのチームと個人を代表で紹介します。ここに取り上げられていない人も含め、出場される皆さんのご健闘をお祈りします。

打 剣道 Kendo

田中美乃里（たなかみのり）さん（布津小学校6年）は、10月12日㈰に富山市で開催される第16回全日本小・中学生女子個人選抜剣道練成大会に出場します。

「優勝目指して頑張ります。」と話す田中さんは、練習が好きで特に素振りなどの基本が大好き。

得意技は面打ちで、特に相面の緊張感が好きだとか。

布津中学校空手道部の森下直人（もりしたなおと）君（2年）、下田普久（しもだゆうひさ）君（1年）、伊藤英治（いとうえいじ）君（3年）の3人は、8月23日㈯～24日㈰に大村市体育文化センターシーハット大村で開催される第16回全国中学生空手道選手権大会に出場します。「突き、特に中段突きが得意なんです」と語るキャプテンの森下君はチームのポイントゲッター。小柄ながらスピードと粘り強い試合運びは監督も認めるところ。力をあわせて優勝を狙います。

突 空手 Karate

左から伊藤君、下田君、森下君

私たちも応援しています！ ～市内の各ライオンズクラブ～

南島原市防犯武道大会の優勝旗（剣道、空手）を市内の各ライオンズクラブが南島原市防犯協会に寄贈しました。7月6日㈰には、新しい優勝旗を優勝チームに授与。もらう子どもたちからは歓声が上がりました。同大会は、空手道の部が加津佐中学校体育館で、剣道の部が南有馬武道館で開催されたほか、7月27日㈰には柔道の部が南有馬武道館で開催され、市内の小中学生が熱戦を繰り広げました。

煌（きら）めいて 鮮やかに

夢（ゆめ）に向かって 若人へのエール

南島原市から世界を目指す

松本百子（まつもともも）

口加高校陸上競技部時代、やり投げ競技で国体など全国優勝経験4回、東アジア大会5位など華々しい成績を誇る。

現在、デイサービスセンター加津佐荘に勤務の傍ら、南島原TACに所属し、国内外の大会で入賞。

彼女が今年出した最高記録55m48は、県記録（日本歴代8位）。

林田監督「投てき競技選手のピークは28歳。彼女はまだ若く、毎年記録は着実に伸びていることも好材料」と期待はつきない。

都会ならば一流の環境は揃うでしょう。記録が伸びれば応援してくれる企業も仲間もいるかもしれません。それでも今の環境を選んだのは、今の監督や地域とともに記録に挑みたかった。多少の恩返しもしたかった。それが理由です。

今でも職場では毎日早い時間に仕事を終わらせてもらっています。試合などで、仕事を空けることが多いのですが、その間は、職場の皆さんに私の仕事をお願いしていますので、皆さんにはすごい負担がかかっています。だからフィールドには感謝と決意をもって臨んでいます。そうじゃなきゃ、ばちが当たりますよね。↙

ここ南島原市から世界を目指されている理由は何ですか――

よく聞かれるのですが（笑）。私は、高校生の頃から、地域の方の応援、学校の仲間、そして監督と一緒に記録に挑んで来ました。↘

今の監督や仲間と「南島原」で記録に挑みたい

若い皆さんにメッセージをお願いします――

「強さ」の源を見た気がします。練習されるうえで気をつけていること、コツのようなものがあれば教えてください――

イメージを大切にしています。投げる姿勢とかそういうことだけではなくて、もっと具体的なもの、フィールドの質感や観衆のざわめき、そういうことまでイメージしています。

これで練習の質はぐっとあがっていると思います。練習外のときもよくやっています。

「自分はやれる。自分は勝てる」そういう前向きな気持ちが大切だと思います。皆さんも何か一つでもいいので「輝く自分」「負けない何か」を見つけ、それを磨いていくといいと思います。とはいえ、スポーツは、楽しむためのものでもあります。一人でも多くの方にスポーツを楽しんで欲しいですね。